

第281回日本体育大学長距離競技会

開催日：2020年11月14日(土)

場所：日本体育大学健志台陸上競技場

種目	名前	学年	記録	着順	備考
5000m	西出 優月	3年	16分01秒09	6組2着 (38名中)	自己記録 16分17秒46を更新
	矢尾 桃子	2年	16分23秒36	4組1着 (25名中)	自己記録 16分50秒89を更新
	山岸 みなみ	1年	16分23秒76	4組2着 (25名中)	自己記録 16分57秒48を更新
	西松 美樹	4年	16分45秒33	4組8着 (25名中)	
	太田 梨菜	4年	16分56秒60	4組13着 (25名中)	自己記録 17分20秒13を更新
	田中 瑠美	3年	17分05秒53	4組17着 (25名中)	自己記録 17分16秒41を更新
	小椋 美海	3年	17分20秒88	4組20着 (25名中)	

【山本コメント】

毎年多くの高校生、大学生、実業団選手が出場する本大会だが、今回はコロナの感染拡大の状況を考慮して、縮小されての開催となった。大学生は出場が許可されたため本学の学生は出場できたが、出場を制限された中高生も少なくなかった。主催する日本体育大学陸上競技部はぎりぎりの交渉、準備の中での苦渋の決断だったかと思うが、縮小ながらも実施に踏み切ったことに感謝申し上げたい。出場していたすべての選手が、培ってきた力を発揮することに全力を尽くし、目標を達成して喜びを実感したり、課題を自覚して悔しさを実感したりする姿が多く見られた。これはやはり、大会という緊張感の中で切磋琢磨してこそ得られるものである。いつもながら、大会全体がとてもよい緊張感、高揚感の中で行われており、このような機会は若者の成長にとって欠かせない場であると感じた。

本学チームから7名が出場し、多くの学生が自己記録を大きく更新した。レース時の気候は、4組目のときは直射日光が強く、暑さを感じるコンディションだったが、6組目が行われた夕刻は気温も下がり風もなく、たいへんよいレースコンディションに恵まれた。喜びは大きいが一瞬であり、目標を達成できた者はまた次のレベルを目指して、もう一段上の準備、工夫をしてほしい。目標を達成できなかった者は結果にめげることなく、今回のレース内容、レースまでの準備状況をしっかり振り返り、次のレース機会にむけて一段とモチベーションをアップさせて始動していくことを期待したい。

現状、富士山女子駅伝の選考基準(5000m7名の合計タイム)達成に向けて、チームとして一段と協力して準備を進めている。今回の大会に出場しなかった学生は、次のレース機会を目指して準備を進めている。コロナ禍の中でいつもの年よりレース機会は少ないが、出場できる大会の機会に感謝し、一戦一戦に集中して目標を達成できるよう、チーム全員で協力して準備を進めてほしい。